

# グリーン・DXプラズマコンソーシアム(CGDP) 入会のご案内

## 環境に係るプラズマを学び、実践する

プラズマとプロセスの知識や知恵を産学の会員が交流を通して共有し、プラズマによる未来技術の創製とイノベーションを興します。

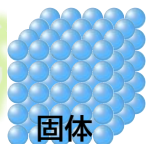
- ・ 多様な専門分野の講師のセミナー、実験や演習を通じた教育
- ・ アカデミアとインダストリーの交流を図る会員が集う場の提供

「カーボンニュートラル」や「持続可能な開発目標(SDGs)」は、人類の持続的な発展に重要なグローバル政策であり、このグリーン・DX時代を迎え、新たなビジネスのチャンスの到来に、プラズマ技術を活用した未来技術によって新しいビジネスチャンスを見出していただければ幸いです。

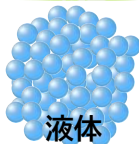
## CGDPの概要

★カーボンニュートラル、水素社会、SDGsに貢献 ～プラズマとDX～  
DXを適用してプラズマプロセスを産業へいち早く展開  
プラズマによるイノベーションを興し、新たな産業の発展を促進

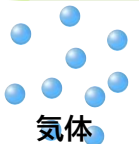
プラズマとは、固体や液体、気体に続く、物質の状態を示す用語の一つで、電子やイオン、反応活性な粒子から構成され、電子だけが高温となるものを「低温プラズマ」と呼びます。



固体



液体



気体



電子  
イオン  
プラズマ

イノベーション

産業界

学界

プラズマ科学・技術

### 1 低温プラズマ科学とともに グリーン水素社会を実現

日本政府が掲げる『グリーン成長戦略』の政策にある燃料アンモニア、水素、自動車・蓄電池、半導体・情報通信、食料・農林水、航空機、資源循環関連など将来の産業の発展と地球環境の保全の達成にプラズマ技術の貢献が期待されています。

### 2 プラズマプロセスの革新 反応制御科学アプローチ

最先端の半導体大規模集積回路の製造技術の開発では、試行錯誤によってエネルギー、資源、労力が浪費され、開発時間の短縮が課題です。プラズマと物質との複雑な物理化学反応を制御する科学的なアプローチによって解決が期待されます。

### 3 データ集積とAIの活用 自律的に制御するシステム

プラズマの複雑な現象をモニタリングしながら、プラズマの科学的な理解と、データの集積、AIの活用によって最適なパラメータを探索します。これらを融合かつ相補的に活用するプラズマプロセス開発の羅針盤を構築していきます。

# CGDPのスキーム

## オープンな情報交換

(NDA不要)

- ◆講演会・講習会
- ◆技術相談
- ◆マッチング・面談
- ◆共同研究立案

## 協業企画

(NDA契約下の協議)

- ◆協業・共同研究立案  
テーマ、メンバー、スケジュール、マイルストーン、成果

## 個別協業・共同研究

(名古屋大学と契約)

- ◆共同研究開発実施
- ◆技術コンサルティング
- ◆特許実施許諾
- ◆成果物提供

## CGDPに参加するメリット

- ◆CGDP講演会(年6回)への参加  
*世話人を始めとした 充実の一流講師陣を予定*
- ◆CGDP実習講習会への参加
- ◆大学研究成果、科学技術データへのアクセス
- ◆共同研究の立案と実施
- ◆企業調整・リエゾン機能の提供
- ◆優秀な人材との出会いの場の提供
- ◆コンソーシアムを通じてのCSR活動

プラズマ科学・技術

グリーン・デジタル

データ/AI/制御

★カーボンニュートラル、水素社会、SDGsに貢献 ~プラズマとDX~

DXを適用してプラズマプロセスを産業へいち早く展開  
プラズマによるイノベーションを興し、新たな産業の発展を促進



世話人

宮下 直人(President)、小田 修(Senata)、堀 勝、豊田浩孝、服部 圭、石川健治、田中宏昌、近藤博基、鈴木陽香、橋爪博司、堤 隆嘉、服部昌祐(事務局長)

入会手続き

趣旨にご賛同いただけましたら、規程をご確認の上、下記のE-mailアドレスへ入会希望の旨をご連絡ください。手続きについてお知らせします。

◆法人会員(登録委員3名) 年会費:50万円



cLPS HP



入会希望メール

【申込・問合せ先】

CGDPコンソーシアム事務局(<https://www.plasma.nagoya-u.ac.jp/cgdp/> 準備中)

電話: 052-788-6075 E-mail: [cgdp@plasma.engg.nagoya-u.ac.jp](mailto:cgdp@plasma.engg.nagoya-u.ac.jp)

所在地: 〒464-8603 名古屋市千種区不老町 名古屋大学 低温プラズマ科学研究センター内